

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林・林業等のPR推進（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	1「上越市みどりのフェスティバル」：新潟県上越市高田公園（平成23年4月29日（祝）） 2「2011国際森林年記念イベント」（4月～12月） 3「治山事業地元説明会」を開催：上越森林管理署管内各市町村
取組の背景及び必要性	森林の大切さ等については、市民の方から比較的理解されるようになっているが、間伐をはじめとする森林整備、治山事業等については理解が深まっていない状況にある。
取組の内容	1 越後杉を使用したストラップ作り等を実施。（クラフト等体験者数286名、上越署ブース来場者約500名） 2 オリジナル横断幕等を作成し国際森林年のPRを実施。国際森林年関連イベント（11回、参加者数910名） 3 森の写真館にて治山事業をPR。また、管内関係市町村に対して治山事業の説明やPRを実施。（延べ3箇所：参加者数約40名で開催）
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：地域の各種イベントに参画 治山事業地元説明会の開催等
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、上越市、妙高市等： 地域の各種イベントの主催等

【 参 考 資 料 】

取 組 名 森林・林業等のP R 推 進（ 継 続 ）

○ 上 越 市 み ど り の フ ェ ス テ ィ バ ル



← 国際森林年の横断幕でP R する上越森林管理署ブース前



森のかけらストラップ作り



← 「漢字クイズ」コーナー



○ 森の写真館（上越森林管理署庁舎階段踊り場）にて治山事業をP R



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	妙高笹ヶ峰癒しの森の整備（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	<p>1 グリーンサポートスタッフによるPR活動等（平成23年8月～10月）</p> <p>2 「2011国際森林年記念ミズバショウ観察会」：新潟県妙高市地蔵山国有林（平成23年5月26日（金））</p> <p>3 登山者カウンターの設置：新潟県妙高市地蔵山国有林乙見湖階段（平成23年5月～10月）</p>
取組の背景及び必要性	<p>森林の持つ癒し効果に人々の関心と期待が高まっていることから、平成19年度に「妙高笹ヶ峰癒しの森」を設定したところであり、関係機関・団体と連携を図りつつ、整備及びPR等を推進する。</p>
取組の内容	<p>1 癒しの森のPR及びマナー啓発のためのチラシ等をグリーンサポートスタッフより利用者に配布した。（500枚）</p> <p>2 「妙高笹ヶ峰癒しの森」を広く一般の人達に知ってもらうため、ミズバショウの観察会を開催。（参加者数89名）</p> <p>3 癒しの森の利用者数を把握するため登山者カウンターを設置（平成23年度利用者数約3万人）</p>
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：主催、実行委員
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、妙高市、夢見平遊歩道を守る会等：企画、運営、共催等

【 参 考 資 料 】

取 組 名	妙高笹ヶ峰癒しの森の整備（継続）
-------	------------------

登山者カウンターの設置



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	地域材(越後杉)の利用推進(継続)
流域名	上越
実施箇所及び実施日	<p>1「第29回国産優良材展示特別市～国有林材フェア～」：新潟県森林組合連合会上越木材共販市場(平成23年10月24日(月))</p> <p>2「平成23年度上越流域森林・林業活性化推進会議」：新潟県上越市上越地域振興局(平成23年10月28日(金))</p> <p>3「ネイチャークラフト教室(森のかけらストラップ作り)」の実施。(2回)</p> <p>4「もくわくフェスタ～上越地域・越後杉まつり～」：上越観光物産センター(平成24年3月3日(土))</p>
取組の背景及び必要性	<p>民団が連携し、地域材である「越後杉」の利用促進を図っており、イベント等を通じてPR等に努め、地産地消や地域材の利用推進に取り組む。</p>
取組の内容	<p>1新潟県森林組合連合会上越木材共販市場主催の特別市へ国有林のスギ材約50m<sup>3</sup>を出品し、地域材のPRに努めた。また、妙高市内の小学生67名を森林教室として、ロゼリの市売りを見学させた。</p> <p>2平成23年度上越流域森林・林業活性化推進会議において、地域材の普及利用推進のための会議が開催され意見交換を行った。また、越後杉普及のための勉強会は、伐採現場との日程調整ができず未実施。</p> <p>3越後杉の端材等を利用したネイチャークラフト教室をとおして、地域材の利用推進のPRを実施。(2回、参加数110名)</p> <p>4上越地域の林業・木材関係団体が主催するイベントにおいて、「森のかけらストラップ」作りを通じて越後杉のPRを実施</p>
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：地域材の生産・販売・PR・森林教室の開催
連携協働相手先・役割	上越地域振興局・妙高市・森林組合等：イベント等の主催

【 参 考 資 料 】

取 組 名 地域材(越後杉)の利用推進 (継続)

1 第28回国産優良材展示特別市 (国有林材フェア)



現場口ゼリによる販売の様子



市場を見学している小学生

2 ネイチャークラフト教室 (森のかけらストラップ作り)



越後杉のPRと工作の説明



スギのかけらを選んでいきます。

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	信越トレイル整備等への支援（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	1 新潟県信越トレイル利用促進連絡会議：上越地域振興局（年2回） 2 信越トレイルガイドスキルアップ研修：長野県飯山市まだらお高原森の家（平成22年10月6日（木））
取組の背景及び必要性	NP0法人信越トレイルクラブとの協定に基づき、信越トレイルとしてのフィールドを提供するとともに、トレッキングコースの整備等について支援をするほか、関係機関・団体と連携し信越トレイルの利用推進に取り組む。
取組の内容	1 上越・十日町地域の共通の観光資源である「信越トレイル」に関し、新潟県内の団体、市、県が連携し、長野県の関係団体とも広域的なネットワークを構築することにより、自然との共生の観点に立って、積極的な利用促進を図り、もって交流人口の拡大及び地域の活性化を目指すため、各団体の自主事業の後援に関する事等について意見交換を行った。 2 信越トレイルの魅力拡大に向け、関田山脈の自然文化歴史等を学ぶための研修会に職員を参加させた。（1名） 3 ソフト対策として、新潟県信越トレイル利用促進連絡会議において、ガイドマップ「トレッキングIN上越妙高」を作成。
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：トレッキングコース整備への支援
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、信越トレイルクラブ等：トレッキングコース整備、信越トレイルガイド養成講座等の開催

【 参 考 資 料 】

取 組 名 信越トレイル整備等への支援（継続）

○ 信越トレイルガイドスキルアップ研修



信越トレイルの歴史等の講義



現地の安全対策の実技→

○ トレッキングIN上越妙高



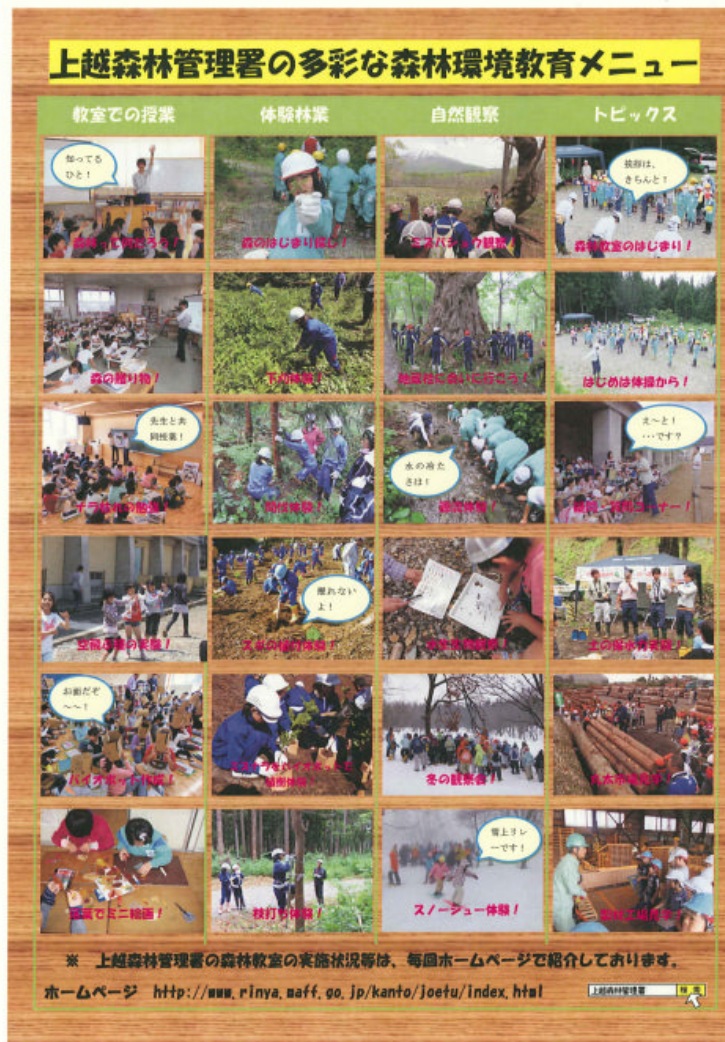
平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林環境教育の推進（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	1 妙高市と連携したみどりの学習推進事業（森林教室）：平成23年度：新潟県妙高市五万戸国有林外 2 OJT森林環境教育実践の実施：上越森林管理署外
取組の背景及び必要性	次世代を担う子供達等が森林・林業への理解を深めることが重要であり、体験林業等の森林環境教育を推進する必要がある。
取組の内容	<p>1 妙高市（みどりの学習推進事業）及び国立妙高青少年自然の家（遊々の森協定）と連携し、県内外の小中学生を対照に様々なメニューを企画書として提案した森林教室を開催。（17回、延べ参加者数1,044人/H24.1月末）</p> <p>この取組は、林野庁国有林野事業業務研究発表（H23.11月）で、林野庁長官賞（優秀賞）を受賞した。</p> <p>2 当署職員を対象にOJTを実施（ネイチャークラフト1回、スノーシュー1回）</p> <p>3 「妙高地域における森林環境教育プログラム等」は市内教育関係機関等に配布するとともに、マスコミ等にも取り上げていただき県内外から高評価を得た。特に副本で作成した「山の安全のことわざ」は、県内外から400件以上の問合せがあった。</p>
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：フィールドの提供講師の派遣、指導
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、妙高市及び関係教育機関：森林教室の共催等 国際アウトドア専門学校：体験林業の実習

【 参 考 資 料 】

取 組 名 森 林 環 境 教 育 の 推 進 ( 継 続 )

○ 妙高市と連携したみどりの学習推進事業



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	笹ヶ峰自然休養林の整備（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	1 笹ヶ峰自然休養林内歩道等の整備：新潟県妙高市地蔵山国有林（平成23年度実施） 2 2011国際森林年国内委員会特別協力 妙高市笹ヶ峰地域における生物多様性保全活動：笹ヶ峰自然休養林（平成23年9月1日（火））
取組の背景及び必要性	森林の持つ機能や環境に対する人々の関心が高まる中、レクリエーションや自然散策等、自然休養林の入り込み者が増加しており、遊歩道や案内板の設置、利用者の安全確保に係る整備が求められている。
取組の内容	1 歩道整備（歩道草刈り、丸太階段工、丸太伏工）を直営事業及びボランティア団体等で連携して行った。 2 笹ヶ峰自然休養林を中心とした妙高高原地域の生物多様性の保全を図るため、関係団体及び地域住民等と連携・協同しつつ、特定外来種の駆除及び在来種の植栽による保全管理活動及びPR活動を実施。（参加者約70名）
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：フィールドの提供、森林環境教育モデルコースの整備等
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、妙高市及び地元ボランティア団体等：イベントの共催及び施設整備等